

弟の字



年 組 ()

4さいの弟が、字を書けるようになった。

「見て、見て！ こんな漢字が書けるようになったんだよ！」

「本当だ。すごいねえ。」

アイは、弟のことをほめた。

でも、本当はちがう。

弟の字は、ほとんど間違っている。ひらがながさかさまになっていたり、点を2つ打っていたりして、どこかしらちがっているのだ。

お母さんも、弟の間違いを指摘しなかった。お母さんは、こっそりとアイに言っていた。

「字を書こうとがんばっている、それだけでもすごいんだから。アイも、ほめてあげてね。」

ある日、弟が泣きながら帰ってきた。

「幼稚園の友達が、ぼくの字を見てバカにするんだ。ぼくの字が、全部間違っているんだって。」

「そうなんだ。ひどいことを言うねえ。」

「ねえ——。ぼくの字って、間違っていないよね？」

アイは、「間違っている。」と伝えるべきか、「間違ってい



ないよ。」と伝えるべきかを考えた。

アイは、「間違っている。」「間違っていない。」どちらを伝えるべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

.....
.....

話し合って考えたことを書きましょう。

.....
.....